



発行 入善町議会

編集/入善町議会広報編集特別委員会
富山県下新川郡入善町入膳3,255
TEL 0765 (72) 1100
FAX 0765 (74) 0067

GIKAI

No.94号

DAYORI

NYUZEN

注 議 会 だ よ り 入 善

にゆうぜん



9月定例会

(写真)

いっぱい、とれたよ

- ★一般会計の概要……………2P
- ★桃李小学校の建設……………4P
- ★「杉沢の沢スギ」学習施設の着工……………5P
- ★一般質問(6議員)……………6P
- ★行政視察レポート……………13P
- ★常任委員会レポート……………14P
- ★ありゃ・どうなっとるがけ……………16P
- ★傍聴席からひとこと……………18P

公職選挙法により、「年賀状」を出せませんので、
よろしくお願い致します。 入善町議会

民間の

宅地開発に約2,260万円



▲つち音響く新住宅団地

一般会計

9月の定例会は、9月12日から22日までの11日間の会期で開かれた。今回の定例会では、1億1237万1000円を増額し、予算総額を109億5491万4000円とした。

歳入の主なものは、国や県の補助金、繰越金、町債、分担金及び負担金などであり、歳出の概要は次のとおりである。

民間の宅地開発 事業に補助

本年4月より施行した団地内道路、公園緑地、側溝、消雪などを対象に補助する。民間活力を導入した人口増対策に取り組む。

(2258万6000円)

簡易焼却炉 ごみ集積ステーション の設置に補助

簡易焼却炉の設置に対する補助は、住民の自家処理意識を高める。

ごみ集積ステーションの設置補助は、ごみの飛散防止など、地域ぐるみでの対応から要望が多く対応する。

(986万5000円)

道路の維持管理

町道の改良や舗装は、年次的、計画的に推進しているが、これら町道の安全性、つまり転落防止や落雪防止網、側溝蓋、暗渠などの維持管理費に増額計上し住民ニーズに対応する。

(810万3000円)

道路改良舗装事業

道路舗装が5カ所、道路改良が3カ所など住民ニーズに対応するための増額である。

(3280万円)



美味しい

富山米づくりに助成

新食糧法の施行に伴い、今まで以上に付加価値の高い米づくりが要求されている。コシヒカリを中心とする。

良質米の生産に対応するため、JA入善町が取り組む食味検査、土壌分析などのソフト事業に助成する。

また、美味しい富山米生産施設調製事業にも助成する。
入善町花弁球根組合が取り組む堆肥など有機物の投入による地力増強は、良質米生産にとって不可欠であり、堆肥撒布施設導入に対しても助成する。

(985万円)

決算特別委員会を設置

平成6年度決算を審査するため、決算特別委員会を設置し、5名の委員を選任した。

12月定例会までに監査委員の意見書や、各課提出の資料を基に徹底した審査をする。

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 広瀬 喜代志 |
| 副委員長 | 福沢 憲一 |
| 委員 | 五十里 隆章 |
| " | 九里 郁子 |
| " | 池原 金与志 |

南部コミュニティーセンターを修繕

建設以来18年経過し、老朽化したので修繕して同センターの利用促進を図る。
今回は、男女浴室の配管を修繕する。

(180万円)

教育委員に

上原 毅氏の

任命に同意



上原 毅氏

教育長の窪野康則氏が、平成7年10月8日に任期満了となる。その後任として、任命することに同意した。

桃李小学校の建設始まる



▲ 完成予想図

計画的に改築されてきた小学校は、桃李小学校の建設をもって、全て完了する。
桃李小学校は、地権者をはじめとする皆様の理解で建設用地を取得し、本年度と来年度にわたり整備を進める。
用地の取得及び校舎・体育館の新築工事の概要を報告する。

校舎・体育館工事の内訳

工 事 名	金 額 (円)	業 者 名
※建築主体工事 (校舎棟)	786,920,000	広川建設工業・中山建設 共同企業体
※建築主体工事 (体育館棟)	481,525,000	五十里工務所・吉原建設 共同企業体
※電気設備工事 (校舎棟)	114,330,000	きんでん・長島電気工事 共同企業体
電気設備工事 (体育館棟)	33,475,000	米沢電気商会・大田電気商 会共同企業体
※給排水衛生設備工事 (校舎棟)	54,281,000	上田管工事工業所・西川管 機共同企業体
給排水衛生設備工事 (体育館棟)	13,153,100	新田配管工業・本田工業 共同企業体
※暖房空調設備工事 (校舎棟)	54,487,000	吉田工務店・藤田工業 共同企業体
暖房空調設備工事 (体育館棟)	6,180,000	田原商会・飯田配管工 業共同企業体
合併処理槽設備工事	17,510,000	花 田 配 管
計	1,561,861,100	

(工期：平成9年2月20日) ※印は議決事項

議案第50号は、町立桃李小学校の用地を取得するもので、面積は約3万0003㎡、取得金額は4億2306万5000円である。
議案第58号から第62号までの5議案は、同校の建設に伴う契約条件であり、工事の内訳は次のとおり。

国 に 提 出 し た

フランス及び中国の
核実験に抗議し、
あらゆる核実験の
中止を求める

中国が地下核実験を実施し、
今また、フランスが南太平洋で
核実験を再開した。

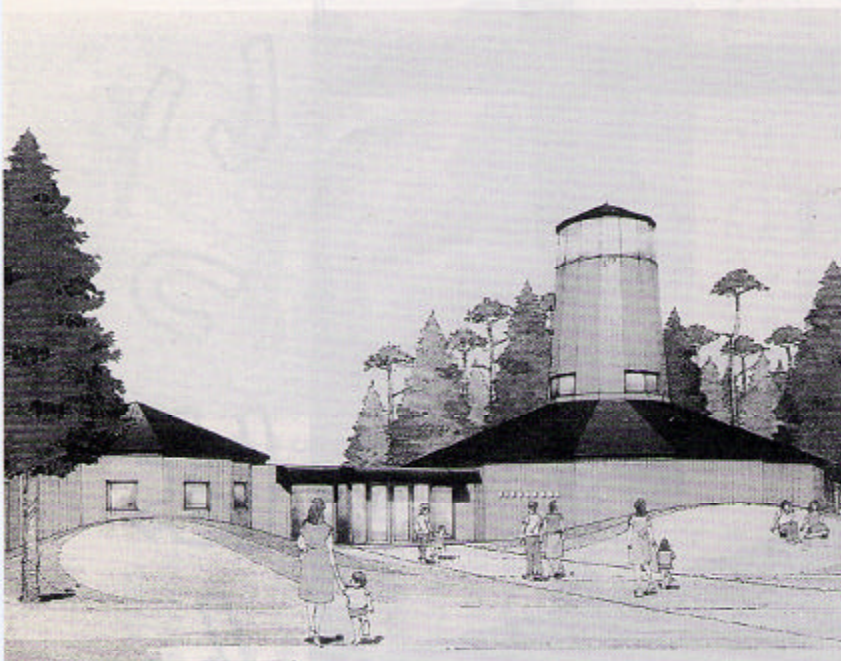
我が国は唯一の被爆国であり、
被爆50年を迎え、核の非人道性
を世界に訴えている最中のこう
した行為は誠に遺憾であり、今
後の核実験の中止を求める。

水力発電所の
周辺地域交付金の
交付期間の
延長を求める

周辺地域交付金の交付期間が
平成7年度をもって満了する。
国土の均衡ある発展を目指し、
地域の活性化と住みよい町づく
りを実現するために、水力交付
金の果たす役割は、今後ますます
大きくなっている。
交付期間を延長し、財源措置
の継続を求める。

「杉沢の沢スギ」 学習施設を着工

「杉沢の沢スギ」は、昭和48年8月、国の天然記念物の指定を受け、数少ない自然林として、町民のみならず、広く全国の人びとにも貴重な存在として知られている。今回の事業は、全国第一号の工「ミュージアム事業」として、今後の事業のモデルとなるものである。用地の取得及び学習館など新築工事の概要を報告する。



▲ 完成予想図

議案第51号は、「杉沢の沢スギ」の学習施設などを新築するための用地を取得するもので、面積は1万4892㎡、取得金額は4972万4000円である。議案第63号は、学習施設の建設に伴う契約案件であり、その内訳は次のとおり。

学習施設工事の内訳

(工期：平成8年3月21日)

※印は議決事項

工事名	金額 (円)	業者名
※建築主体工事	115,360,000	(株) ノザワ
電気設備工事	4,336,300	北陸電気工事(株)入善営業所
機械設備工事	7,683,800	西川管機(株)
計	127,380,100	

下記の意見書を

第6次海岸事業

五カ年計画の早期策定と
海岸事業費枠の
大幅な拡大を求める

海岸整備事業は津波、高潮、波浪等による災害から国土を保全し、住民の生命と財産の安全を確保するための根幹的な事業であり、平成8年度からの第6次5カ年計画の早期策定と事業費の大幅な拡大を求める。

道路の整備促進を 求める

道路は、地域の経済活動を活性化させるとともに、町民の生活を支える根幹的な社会資本である。

北陸自動車道の完全四車線化と国道8号線バイパスの早期完成など、地方の道路整備予算を大幅に拡大・確保することを求める。

地方自治法第99条第2項

議会は、当該都道府県市町村の公益に関する事件につき意見書を関係行政庁に提出することができる。

いっぱん質問



▲「いい湯だの～」 「ありがたいことやちや～」

今定例会の一般質問は、9月18日(月)に行い、6人の議員が登壇し、町長の施政をたじた。各議員とも今後の町発展のための基本的な施策について質疑を交わした。

特に、「新食糧法が施行されれば町の農業は守れるか」、「入善高校を魅力的な特色ある学校にする対策」、「7月豪雨災害の対応」、「下水道事業に関する具体的な構想」、「マルチメディア時代に即応した行政・教育」などについて、町執行機関の考え方をたじた。

7月豪雨災害の 現状と対応はどうか

岡島 功議員（自民党）

町長 土砂排出は緊急避難的と考える



▲ 26年ぶりの増水（上野野地先）（後）

問 4月に実施した機構改革における、成果と問題点を示せ

行政課題を

スピーディーに
処理している

町長 女性係、下水道課、用地課の新設をしたが当局

のメリットよりもむしろ、住民のニーズに促した対応を取った結果であり、迅速に対応出来るものと思われる。

小摺戸地区の下水道の要望に対し、下水道課は早急に対応する等スピーディーな対応をしている。
また、道路事業に対し建

設課と農林水産課と二課で行う事となったが、親切に対応するように指導している。

問 出し平ダム排砂調査委員会の報告と7月災害の現状と町の方針を示せ。

黒部川災害復旧対策関連機関連絡調整会議が設置されたが、従来の調査委員会とどう違うのか。

入善漁港等、町発注の工事への影響と対策を示せ。

漁業被害と災害

対策は、区別して
考えるべき

町長 漁業被害等の検討委員会と災害対策調整会議とは別に考えるべきであり、今回の災害に対する土砂排出は緊急避難的に考えるべきである。流木等は、現在処理している、当事者間で話し合い解決すべきである。
松島農林水産課長 防波堤の根固め工事をしているが、土砂の流入があつて工事の遅れがあり、工事期間の延長等に対応したい。

問 町の防災計画はいつ策定したか。見直しの内容と時期を示せ。

職員による

検討委員会で
新計画を策定する

町長 現在の計画は、昭和59年に策定したもので、水害、高波等を想定したものである。地震に対する想定も必要と思う。避難場所の見直しも行いたい。

県との整合性を図るため、町職員による検討委員会を発足させており、今年度中に新計画を策定したい。

下水道事業の受益者負担金は

いくら位か

福沢憲一議員（自民党）

町長

一戸当たり25万円を考えている



▲ 下水道先進地の視察

問 農村集落排水事業と公共下水道事業の着手は、先の議会での答弁では、平成9年度からのことであったが、変わりはないか。また、何年計画か。

事業の完成まで
20年から25年を
考えている

町長 平成9年度から財政を見ながら実施する。事業完成までの年数は20年から25年を考えている。

問 受益者負担金と使用料を基本的に、いくら位を考えているか。それらを徴収するための条例化はいつ頃か。

下水道条例は
8年度に
議会に提案する

町長 受益者負担金は一戸当たり25万円としたい。使用料は4人家族を平均として、一カ月当たり4000円を考えている。条例は平成8年度中に議会に提出する考えである。

問 下水管は、国や県、町道は町で埋設されると思うが、生活道路の取り扱いはどうなるのか。合わせて、事業執行体制への人員配置計画はどう考えているか。

町長 国や県、町道は当然、町で施工するが、将来とも道路と考えられる生活道路も町で施工する。また、事業の進み具合を見ながら、担当課と相談して人員を配置する。

新食糧法が及ぼす

影響と対策を問う

広瀬 喜代志議員（自民党）

（町長） 省令や政令を研究し対策を考えたい



▲ パソコン導入で楽しい授業

問 食糧法の廃止と新食糧法は大きな転換期であるが、基幹産業としての農業をどう指導していくのか。

入善米の

販路拡大に

努めたい

町長 生産面での努力、農業所得の向上等に農業機械を効率的に利用するなど行政として真剣に対応したい。農協や生産組合等と十分連

絡を取って対応したい。岸和田市などとの交流を大切にし入善米の販路を拡大したい。

問 マルチメディア時代の到来と21世紀を展望した行政、教育についての考え方を問う。

情報機器の導入で

6人分位の経費

節減になっている

町長 情報処理、通信分野は、飛躍的に技術が進んで来ている。町としては新川広城園二市三町で行っているテレビビア構想の地域指

定を目標にして住民にサービスを図りたい。また、教育は指導者の育成、目的を持った情報教育を行ってほしい。OA化することによって健康、医療、福祉等に応用していきたい。

現在、町の情報機器はパソコン24台、ワープロ11台、行政情報システムとして本体1台、端末18台となっている。これらに要する費用は8200万円となっているが、これによって6人分位の減員で人件費的に大きな経費節減になっている。

問 史上最低の公定歩合で、地方行政への影響はどうか。

金利低下は

町にも影響がある

町長 将来の大型事業に対応するための財政調整基金など、平成6年度末で約37億4000万円である。

金利低下の影響は厳しいものがあり、一部事業の見直しも考えなければならない。一方、借入金の金利低下というメリットもある。町民の大切な資金運営を真剣に受けとめて対応したい。

WTO協定の改正提案を

国に求めよ

九里郁子議員（日本共産党）

助役

国に求めるべきと考える



▲ 転作と他用途米に悩む農家

問 11月から施行される「新食糧法」の方針に添ってつくられた、町の「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」で町の農業は守れるのか。

認定農家は年収700万円は実現できるとしているが、基準は現在の農産物価格である。今後輸入米の増加など、供給過剰による米価下落で中小規模の農家は衰退し、大規模農家も大打撃を受ける。来年度の転作面積は15%増と報道されているが、町ではどうなるか。コメ輸入自由化をくいとめるため、WTO協定第10条にもとづき、協定の改正提案するよう国に求めるべきと思うがどうか。

町長 「基本構想」で本質的な解決にはならないが、前向きな努力を積み重ねることが大切。転作目標面積は12月で実情にあわない。

助役 WTO協定の改正を提案するよう国に求めるべきと考える。農業資材、農機具の価格引き下げが必要。農協と一体となり、乗り切っていかなければならない。

問 非核・平和事業を系統的に推進するために、条例をつくる考えはないか。

町長 広島での平和大会に町内の小、中学生の参加を検討したい。条例は全国の例を参考に検討したい。

問 JR北陸本線の地域鉄道部への移行は、安全・サービスを低下させ、第三セクターへの道ではないか。

地域住民の

足を守るため、

今後の運動が大切

町長 県と市町村を中心に設立した富山県公共活動活性化協議会に、JRの改善やバス路線の拡充などを強く要望している。

第三セクター化に同意したが地域住民の足を守るため、運動していきたい。

問 ビン、缶類の資源ボックスを常設してはどうか。

広域圏では、プラスチック類を埋め立てる土砂が足りず600万円も増額補正したが、トレーやペットボトルの再資源化に取り組むことを検討せよ。不合理な不燃物の指定袋をやめよ。

アルミ缶の回収は

来年度から

対応を考えている

鬼原環境保健課長 常設の資源ボックスは管理面で難しい。アルミ缶の回収は来年度対応を考えている。不燃物の炭カル袋は広域圏でも意見がある。新しい焼却炉は、ピニブラ類の混入率30%を想定し、燃えるごみとしての設計になっている。

入善高校の特色ある教育に 力を注がりたい

東 狐 和議員 (町民クラブ)

教育長 自然科学コースと 英会話を当局に働きかける



▶じいちゃん長生きしようね (老人福祉施設)

問 痴呆性老人を抱える家族の悩みは極めて深刻である。入善町には何人おられるか。

鬼原環境保健課長 実態把握は困難である。施設等の入所者は11名。いろいろ苦慮されている人は相当数あるものと思う。

問 痴呆性老人及び痴呆性疾患の相談窓口の設置は考えているか。

痴呆性老人の相談は在宅介護支援センターの活用を

鬼原課長 舟見寿楽苑に隣

接の入善町在宅介護支援センターが24時間体制で対応しているので、利用された

問 理学療法士・作業療法士、介護福祉士の人材養成の考えはあるか。

鬼原課長 脳卒中後遺症の機能回復など、月一回黒部市民病院の協力を得ている。県内でも有資格者が少ない。広域圏内で対応したい。

介護福祉士は舟見寿楽苑に18名いる。

問 不登校の児童生徒の実態とその予防対策を示せ。

不登校児童対策は生徒の立場に立って指導している

大沼学校教育課長 30日以上欠席者は、小学生1名、中学生は8名。児童生徒の立場に立ったカウンセリングを行う。

平成6年度は98.1%、県下の平均は98%である。入善高校へは32.5%、平成6年度は31.8%だった。

問 入善高校の特色ある教育について町の取り組みや施策を問う。

教育長 「理系の自然科学コース」が、良いと思う。また、フォレストグループ市との交流を図り、英会話がマスターできるなど魅力ある学校にと、高校や県教委に働きかけたい。

問 働く母親に役立つ0歳児保育、延長保育を拡大する考えはあるか。

居残り保育は全保育所で充実し、町民ニーズに応える

上原福祉課長 現在、0歳児は東部と西部で3名保育している。途中からでも受け入れる。新しい事業に取り組みよう努力したい。

来年度、延長保育を西部保育所でも実施する。17時30分までの居残り保育を全保育所で充実したい。

問 3中学校の進学率は県下でのレベルか。入善高校への入学状況はどうか。

大沼課長 進学率は97.7%、

町の防災計画の見直しの時期や方法をどのように考えているのか

西尾政巳議員（自民党）

大木総務課主幹

地震も想定し、本年中に策定したい



▲ 漏水をくいとめる「月の輪工法」（板屋地内）

問 県では、すでに中部圏、九県一市と、さらに新潟県とも、災害時、相互応援協定を締結している。町の見直しの時期や、ポイントは何か。

大木総務課主幹 現在の防災計画は、昭和39年に制定され、昭和59年に見直しをして現在に至っている。風水害の想定が、主となっていて、本年度中に地震対策も含め見直したい。

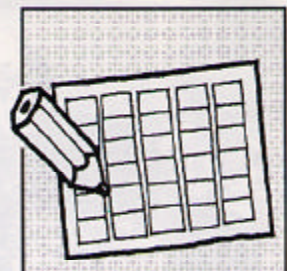
問 見直しの方法は、職員のみか、専門家に委託するのか、また、町民の意見をいかに反映させるのか。

大木主幹 被害直後の初動体制を含め、幅広い意見を反映させたい。

問 容器包装リサイクル法が出来た。4月から指定ゴミ袋制となり、ゴミは昨年対比で若干減っているが、最近、徐々に増えてきている。どのような対策を考えているか。

ゴミ発生源の
メーカーの責任が
軽すぎると思う

鬼原環境保健課長 リサイクル法は、平成9年から実施される。ゴミの発生源となる、メーカーの責任が軽すぎるのではないかとの認識をもっている。住民の1層の協力が必要になると思う。特に有毒ガスの出る、ペットボトルの処理は大変である。



行政視察 レポート

防災無線の先進地を視察

〈北海道奥尻町〉

総務常任委員会一行は、7月3日から5日までの日程で北海道岩内町と奥尻町を視察した。
岩内町は人口1万8846人、新潟県直江津港との

間にフェリーが就航し、日本海側の北の玄関口として、飛躍をめざしている。地場産業で温泉の排水熱を利用したハウス栽培による雷電メロンに力を入れ、夕張メ

ロンに対抗している。奥尻島へは、瀬棚から東日本海フェリーで50分、ご支援ありがとうございます。元氣な奥尻町の復興に頑張っています。奥尻町」と大きな看板が迎えてくれた。役場では、北淡町から町長が来訪されており、奥尻町長と激震地交流が行われていた。当方には総務課長が応対して下さり、マグニチュード7・8の地震と津波の状況説明を聞いた。



▲ 津波の被害状況を聞く

最大の犠牲と経験から今年3月より新システムを導入し、震度4以上になると自動的に各家庭に放送される、まさに命綱の役割をもっている。

総務常任委員会
副委員長 福沢憲一

老人福祉施設の先進地を視察

〈京都府宇治市〉

6月26日、28日、3日間の日程で、京都府宇治市と三重県川越町を視察した。宇治市は、国の地方分権特別制度の適用市町村として指定を受け、小学校の空き教室を改造して老人福祉施設を設置、全国初の試みとして4月にスタートした。

ホームなどにした。3階は学校施設として、コンピュータ室などに改造し、南校舎と渡り廊下でつないで学校運営に支障が生じないようになっている。

3階建て12教室ある小学校北校舎の1階はデイ・サービスセンターに、2階はエレベーターを設置して、在宅介護支援センター、デイ

今後も、老人保健福祉計画事業にもとづき、可能な小中学校から順次整備する計画とのこと。

川越町は人口1万人余りで、四日市市に隣接し、ベッタウン化しつつある。

平成4年4月に、保健、



▲ 説明を聞く一行

福祉、医療にかかわる全ての職員を統合し、保健福祉課を設置。

いきいきセンターは、地域住民のオアシスとして保健福祉・教育・文化を総合的に計画した川越町総合センターの保健福祉部分であり、診療所、健康管理センター、老人福祉センター、老人デイ・サービスセンター、社会福祉協議会の5部門で構成する複合施設である。保健事業への大きな取り組みは、国保会計へプラスに働くものと思われる。

文教厚生常任委員会
副委員長 岡島 功

常任委員会レポート

9月19、20日、それぞれ総務、文教厚生、産業建設の各常任委員会が開催され、付託された議案を審議した。各委員から本会議場の質疑と一味違った審議がなされた。要旨を報告する。

総務

補助金、助成金制度を積極的に活用し、町民の笑顔が見える行政を！

11月から新食糧法が施行され、より厳しい農業環境が予想される。産地間競争に打ち勝つ農業経営をめざすには、ものまね事業では、既に後手であり、期待でき

る結果は生まれない。「美味しい富山米実践事業」は時宜を得ており、さらに特長ある事業に積極的に取り組まれない。

「ふれあい交流プラザ」は、町民本位を貫け

旧中央公民館跡地に建設を予定している、水をテーマとした「ふれあい交流プラザ」はリーディングプロジェクト事業の指定を受けるため、自治省との打ち合せや、先進地調査に努力中であり評価する。町民の関心も高く、商工会やJA入善町とも綿密な連携をとり、ぜひとも町民ニーズに応えていただきたい。

文教厚生

防火水槽は

基本計画を確立し、順次実行を！

のなか公民館新築に伴う防火水槽設置は必要であり採択すべきものと決した。尚、防火行政は地元から陳情が出て検討するという形ではなく、総合計画の中で基本を作成し、計画的に実施するよう意見が出された。

総務常任委員会
委員長 本多 幸男

老人保健福祉計画

の実現に向け

一層の奮起を望む

ヘルパーのバイク使用は危険が大きい。軽自動車は、常勤者の数を確保されたい。老人保健福祉計画の見直しや重点事項を検討し、一つでも多く実現するため、一層の奮起を期待する。

生ごみ処理器は

補助対象器種の

拡大と増額を

生ごみ処理器の購入が増えている。補助対象をコンポスト型でスタートしたが新器種も対応できる補助金の増額を検討されたい。

学校建設には

地質、地形排水等に

十分な調査を

ひばり野小学校ビロテイの浸水は豪雨が原因ではあるが、排水路の不備は、当初から指摘されていた。桃李小学校建設には、十分調査し二度と同じ失敗をくり返さないよう配慮されたい。

戦後50周年展

収集資料の

常設展示を望む

戦前戦中の生活用品や戦争関連の遺品などが、町民から数多く提供された。町に寄贈、委託された資料は、常時鑑賞できるように保存・展示されたい。

文教厚生常任委員会
委員長 田原 進



▲ 収集作業ご苦労さん



▲ 涙の結晶… 1等かな

産業建設

新食糧法の施行を前に

農業への関心深まる

新食糧法が11月施行となり、農家の不安は大きい。町の一層、真剣な対応が求められる。

米輸入、転作作物への取り組み、市場原理が導入される米価など、今後の米づくりに不安感を与えるもの

である。

このように農業をとりまく情勢が厳しい中で、農村基盤総合整備の負担金が近隣町村よりも高いが、総合整備事業は社会資本の整備であり、町の負担も見直すべきである。

道路舗装の

促進を図れ

これまで、160件もの要望や請願書などが寄せられている。これらに対し、町民の要望に応えるため、今回、農林水産業費、土木費を含め7616万円の増額補正がなされた。数多い要望の中から、優先度を見ながら、早急な、対応に求めるものである。

洞川用水路の

整備を図れ

陳情第16号は、洞川用水路の整備であり、住民生活にかかわる直結した大切な案件である。第17号は、入善町ふるさと経済振興に関するもので、町の商店の活性化を進めるものであり、町内での消費に、一層の協力を求めるものである。

産業建設常任委員会
委員長 早川 誠一

出し平ダム、猫又の

崩落復興現場を視察

9月27日、議員一行16名は関西電力黒部川電力所の案内で、出し平ダムの流木処理状況や猫又を中心に土砂崩れの実情を視察した。

去る7月11、12日の豪雨による被害総額は関西電力の試算によれば、300億円と損失電力5億100億円、合せて400億円程度という説明であった。一行は軌道電車の出し平駅で下車し、猫又谷の大崩落現場まで往復5.5kmを徒歩で視察し、詳細な被害説明を聞くことができた。特に、黒部川第2発電所が立地する猫又谷の崩壊は凄まじいものがあり、黒部川を埋めつくし、近辺を水浸しにした。現在、重機と人海戦術で復旧に懸命であった。宇奈月町を拠点とするヘリコプターは、1分間1万円だそうである。出し平ダムに堆積した流木を下流に流し処理に要した費用は3億円、延べ作業人員は4000人だそうである。自然災害とは言葉、あまりにも大きな爪跡に、一日も早い復興を祈念し、山をあとにした。

(報告者 本多幸男)



▲ 河床が10m上がった現地

なつとるがけ？



▲朝の入善駅

在来線の第三セクター化

どうなつとるがけ

問1

第三セクター化が決まったがけ
平成2年12月、政府及び与党の申し合わせにより、「建設着工する区間の平行在来線は、その開業時にJRの経営から分離する。」と確認された。

問2

町は、どうながけ
平成4年4月、町は糸魚川・魚津間の第三セクター化を了承した。

問3

その後の経過は、どうながけ
平成6年6月、糸魚川・魚津間の第三セクター鉄道調査研究会が設立され、基礎資料の収集や研究を行っている。
町は、機会をみて要望を申し入れる。

国民健康保険の実態は

どうなつとるがけ

問1

昨年度、一人当たりの年間医療費は、いくらだったか
一般者（0歳から70歳）の平均は22万円、退職者は33万円、老人は68万円であった。

問3

本年度の国民健康保険料は、どう変わったか
賦課限度額を52万円に引き上げた。

問2

医療費は、なぜ毎年上がるか
加入者の減少、低所得者の増加や高齢者の増加などが原因である。

問3

一方、低・中所得者層の負担を軽減するために資産割を引き下げた。

新しいごみ焼却場建設は

どうなつとるがけ

問1

新川広域圏では、10月13日に、施設建設工事の入札をおこなった。
現在の焼却場（朝日町）の隣りに建設する。
平成11年度中に完成し、平成12年4月稼働予定。

問2

※請負業者
パブコック日立(株)
請負金額
64億5295万円



▲舗装が進む町道

道路の舗装や改良など すぐにできんがどうなっとなるがけ

問1 道路や水路など、生活関連の要望や請願書等はどれ位あるがけ
答 平成4年から平成6年までに約160件ある。

問2 どこから工事するがけ
答 緊急性、重要性を見極めて施工する。

問3 本年度は、どれだけ金をかけ工事するがね
答 当初予算では、約3億円である。

その内訳は、国や県から補助金を受けて施工する幹線道路の整備に約1億5000万円である。

町道の改良や舗装・交通安全施設や投雪防止の整備、消雪工事、雪害防止などに約1億4000万円である。

大規模林道ちや どい道ながけ

問1 どい事業ながけ
答 国がすすめている大規模林業園開発事業である。

問2 なぜ造るがやる

計画的な造林や森林の手入れが可能・農業や畜産など山村の生産活動が活発化・緑を求める都市住民には、レクリエーションと憩の場を提供。

費用はどの位

問3 本町分だけで、約157億円見込まれており、町負担分は5%であり、約7億8000万円である。

問4 ルートは、どうけ

林野庁は、全国で7地域の林業園を指定しており、その中の一つが、富山県と岐阜県にまたがる高山市から朝日町を結ぶルート。富山県内の延長は、約53km・入善町は約4km該当する。

問5 完成するまで、どの位かかるがけ

約25年間である。部分的には、数カ所開通しており、朝日町の笹川地内では、平成5年から工事が進んでいる。

「議会だより」が誕生した



▲前列左は嶋田元議長・後列中央は藤田元係長

「議会だより」が、初めて発行されたのは、昭和49年4月であった。編集委員が、発刊当時のエピソードや苦勞話を取材するため、元議長・嶋田久之さんと元議会事務局係長・藤田政也さんを訪ねた。その概要は次のとおり。

当時「議会だより」を発行している町村は、富山県

下では一カ所もなかった。全国町村議会議長会に問い合わせ、香川県など4カ所から、「議会だより」を郵送してもらい、参考にした。

「住みよい町づくり」は、住民と議会との意志疎通を図り、相互の信頼を培うことにより築かれるとの考えから、「議会だより」は、その一翼をになっている。

発行に当たっては、町長や議員の一部から「文章を書くのが苦手で」、「質問のやり方も考えんなんらん」、「面子がつぶれるから止めてくれ」、「どこへでも、いかれんがなる」など多少の抵抗があった。

編集の窓

●今年の作況指数は、98と発表された。とんでもない、農家の収穫実績と相当のひらきがある。

作況との隔離をどう説明すればよいのか。11月施行される新食糧法が、我が国の農業をどのように変えようとしているのか。転作の強化と併せ、農家、町経済への影響が心配。

●新聞・テレビは、連日「官接待」を報じている。国民に伝える思いでの、「官官接待」であろうが、現在の経済不況の中で行政のあり方が問われる。行政の改革に取り組みたい。

●円高は、100円相場で推移し、金利は史上最低となり、金融機関のずさんな不良債権処理に、国費の投入を図ろうとする等、国民をバカにした行為であり、一層の政治不信が高まる。

●議会だよりも94号となり、委員も全力で取り組んで来た。秋の夜長にお読み下さい。ご意見をお待ちします。

傍聴席からひとこと



河村初江さん
(新屋)

念願だった町議会を傍聴致しました。議場はシーンと静まり、初めて傍聴する私はコチコチに緊張していたように思います。

私は、今一番関心があり気になっている事は、地域防災計画ですが、その質問は午前中に終わっており聞くことが出来ませんでした。午前中の質問要旨を知っておればと思いましたが、事前に質問要旨を知る方法があるのでしようか。これからは、「議会だより」を楽しみに読みしたいと思います。

◆編集委員会から

町民のみなさんへ◆

議員だけで編集するようになって6回目を迎えました。一人でも多くのおみなさんに読んでいただけるよう努力しています。意見や感想をお寄せください。
(役場議会事務局へ)

議会広報編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 板川清治 |
| 副委員長 | 九里郁子 |
| 委員 | 福沢憲一 |
| 委員 | 本多幸男 |
| 委員 | 早川誠一 |
| 委員 | 五十里隆章 |